

安川電機 & ミュージアム

当社は2015年に創立100周年を迎えます。これを記念し、新しい連載として
当社の歴史や製品にまつわる収蔵品がある博物館を紹介していきます。
初回は、当社本社所在地北九州市にある「いのちのたび博物館」です。

第1回

いのちのたび博物館

<博物館の概要>

10周年を機に昨年リニューアルした「いのちのたび博物館」は、
史上最大の翼竜ケツアルコアトルスなどが加わった1階のアース
モールや、恐竜ロボットのエンパイラマ館で恐竜の世界を身近に
体験することができます。

こうした恐竜や昆虫の企画展が話題となる「いのちのたび博物
館」ですが、正式名称「北九州市立自然史・歴史博物館」の名前
が示すように、化石や鉱物、昆虫やカブトガニの標本や、縄文か
ら近代までの歴史など、さまざまな展示を楽しむことができます。

当社はこれまでも2007年夏に開催された「世界最大の翼竜
展」で翼竜が飛ぶ様子を再現したモーションディスプレイの製作
などで協力を行ってきました。

<当社にまつわる収蔵品>

1980年に当社の創業者である安川敬一郎の日記や古文書な
どが安川家から旧歴史博物館に、また2009年に伝来の書画など
が「いのちのたび博物館」に寄贈されました。2011年に、博物
館で「近代産業界の雄・安川家秘蔵のコレクション」展が開催され
ました。

収蔵コレクションには、「伝雪舟の山水図」や「高島北海の掛軸」
などとともに、辛亥革命後に中国の孫文(孫中山)から安川敬一
郎に贈られた「世界平和」の扁額があります。

世界史でも著名な孫文の活動を、当時の福岡や熊本、長崎など
九州の人々が支援していました。また、孫文自身も大正2年3月
に九州各地を訪れていました。北九州ではのべ2日間滞在し、明治
専門学校(現在の九州工業大学)で講演を行った後、安川敬一郎
邸に宿泊し、翌日には八幡製鐵所を視察しました。「世界平和」の
扁額は安川邸滞時に揮毫したものです。

北九州、福岡、荒尾とそれまで関係の深かった人々の自宅やお墓
を訪問している足どりを見ると、たいへん多くの九州の人たちが
辛亥革命までの孫文を支えていたことを感じることができます。

そうした繋がり証として、「世界平和」の扁額が
博物館に収蔵されていることをとても誇らしく思います。

「いのちのたび博物館」案内

所在地	福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1
開館時間	9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日	年末年始、毎年6月下旬頃
観覧料	大人 500円(常設展: 400円)
ホームページ	http://www.kmnh.jp/



いのちのたび博物館外観



恐竜の展示



安川邸での孫文と安川敬一郎



「世界平和」の扁額

(写真提供: 「いのちのたび博物館」)